

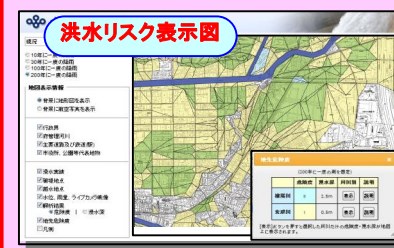
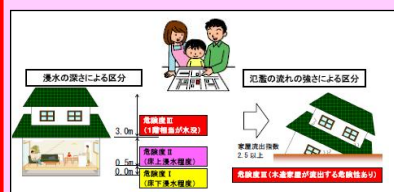
30年後には流域全体で、時間雨量50mm程度の降雨による床下浸水を防ぎ、時間雨量65mm程度の降雨による床上浸水を防ぎます。

現状は

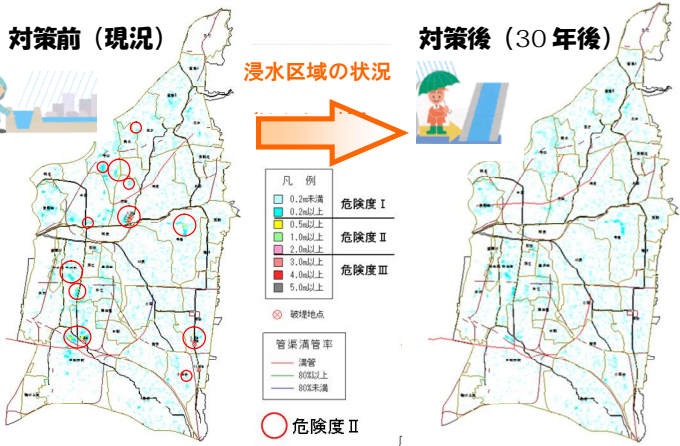
○近年も浸水被害が発生しています。



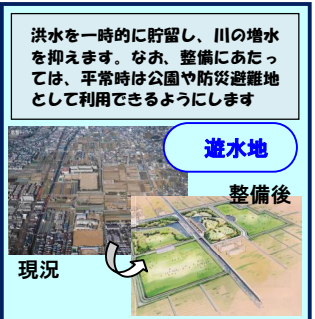
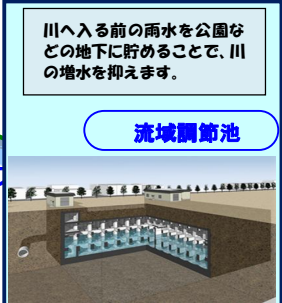
寝屋川流域は資産が集中しており、浸水すると甚大な被害が発生する恐れがあります。



将来的には



安全・安心な川にするために



# ～河川整備計画で実施する主な内容～「地域が愛着をもてる川」をめざして

## 3つの目標像

上流域は「水に入って生き物と触れ合える川」

中流域は「暮らしの中に憩いやくつろぎを与える川」

下流域は「街なかのオープンスペースとしてゆとりを感じられる川」

「街なかのオープンスペースとしてゆとりを感じられる川」

堤防の景観を改善し、地域が愛着をもてる川にします。

底泥の澄濁により水質の改善を行います。

### 景観の改善



### 浄化浚渫



川の雰囲気は良くなり、川でゆとりを感じられます。

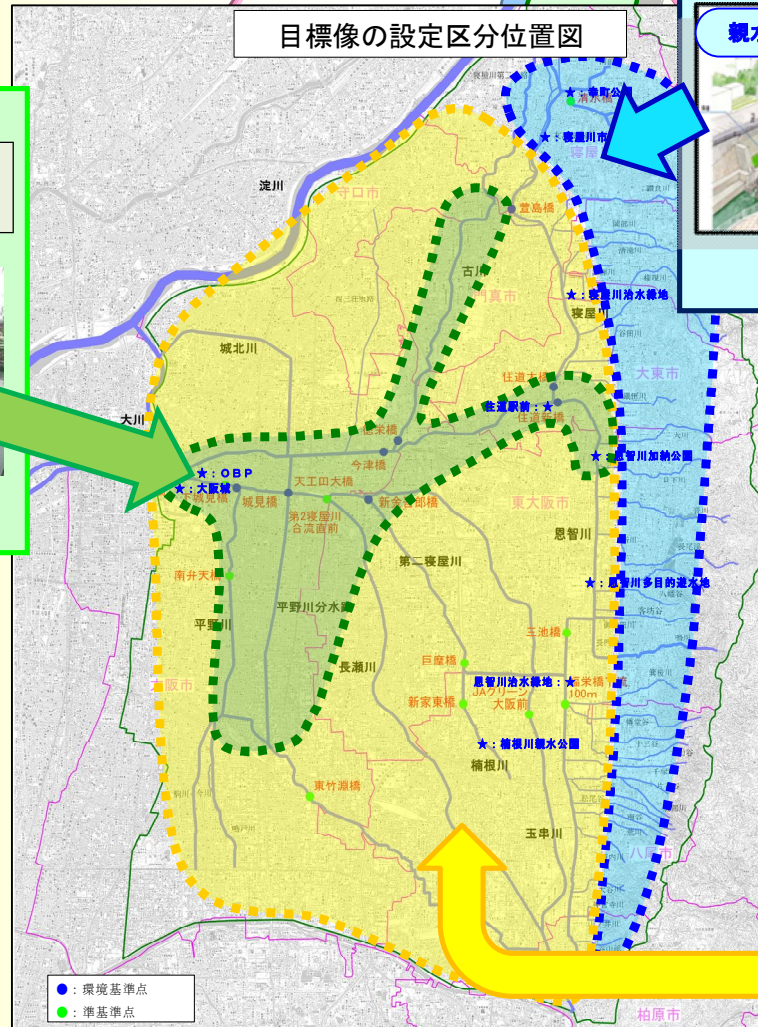
## 流域全体で取り組むもの

### 美化活動



官民協働の取り組みとして、ボランティア活動による河川美化活動を支援します

## 目標像の設定区分位置図



## 「水に入って生き物と触れ合える川」

地域住民の川づくりの機運が高まりに応じ、ワークショップを実施しながら親水空間の整備を行います。

### 親水空間整備



川に人が集まり、生き物にも触れ合えるようになります。

## 「暮らしの中に憩いやくつろぎを与える川」

堤防の緑化などによる景観の改善を図ります。

水質の改善を行います。

### 景観の改善(堤防緑化)



### 多自然型浄化



### 親水性護岸の整備



川に近づきやすくなり、いこいやくつろぎの場となります。